

-----12月1日-----

※ 今週のアウトルック (12/1~12/6)

先週の週前半は、利益確定売りが先行して若干円高が進む通貨ペアが多かったですが、金曜日には原油安などを材料に円安がすすみました。

今週は、金曜日に米国雇用統計の発表が予定されているため、結果を睨んだ展開となりそうですが、それまでは少しずつ円安が進む可能性が強いかもかもしれません。

先週ドル円は、サウジアラビアが原油生産の調整に応じなかつたことにより、原油先物価格が下落したため、ドル高円安が進みました。

ただ、ドル高が進んでいるのは円に対してのみで、ユーロやポンドに対しては、幾分停滞気味です。このまま一直線のドル高円安は難しいかもしれません。

金曜日に発表される米国雇用統計の結果が予想外に悪かった場合、クリスマス休暇前の利益確定売り、120円達成感からの売りなどと連動して、大きく売り優勢となる可能性も、考えておく必要があるように思います。

ドル円の予想レンジは115円から121円です。

ユーロドルは1.24付近で停滞しています。このまま1.24を大きく割り込むことなく、もうしばらく膠着状態が続けば、下げ止まり感から底値の確認となるかもしれません。

ユーロ円はユーロドルの膠着と円安を背景に、金曜日には148円付近にまで戻ってきていますが、そろそろ150円付近が限界に近い可能性が出てきているように思います。

ユーロ円の予想レンジは143円から152円です。

ポンド円ドルも1.56付近のサポートラインで、何とか踏みとどまっています。この状態がもうしばらく続けば、底値確認感触が強くなるかもしれません。

ポンド円もそろそろ高値限界感が強くなってきているように思います。また、クリスマス休暇前の利益確定売りがそろそろ出てきてもおかしくないように思います。

ポンド円の予想レンジは182円から191円です。

今週は、米国雇用統計発表後に円安から円高に一気に反転する可能性も、警戒する必要があるように思います。

**\* 免責事項 \***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。